



# 1月 給食だより

令和5年度

山梨市教育委員会

新年を迎え気持ちも新たに3学期が始まりました。学校では1月に学校給食週間があり、山梨県の郷土料理や特産物を食べて食文化にふれたり、給食の時間に学校給食の歴史を学んだりします。給食だよりを親子で読みながら昔の給食の話などをしてみてはいかがでしょうか。



## 1/24~1/30 全国学校給食週間 給食の歴史&献立の変遷



日本の学校給食は明治22(1889)年に、山形県鶴岡町(現・鶴岡市)にある大誓寺というお寺の中に建てられた忠愛小学校で始まったとされています。お坊さんが、いただいたお米や野菜、お金を使って貧しい家庭の子どもたちに食事を用意しました。その後、学校給食が子どもの栄養を改善する方法として、国から奨励されると各地に広まっていきましたが、昭和になると戦争による食糧不足の影響で実施できなくなってしまいました。

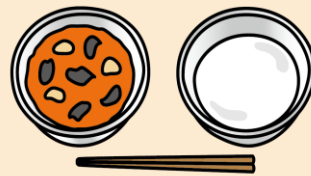
戦争が終わり、子どもたちの栄養状態の悪化が心配されたことから、昭和21(1946)年にアメリカのLARA(アジア救援公認団体)から給食用物資の寄贈を受け、翌年1月から学校給食が再開されました。給食再開に感謝して、昭和25(1950)年度から1月24日~30日を「全国学校給食週間」と定められました。



給食用物資贈呈式

昭和29(1954)年に「学校給食法」が公布・施行され、学校給食は教育活動として実施されることになりました。

### 昭和 22 年ごろの給食

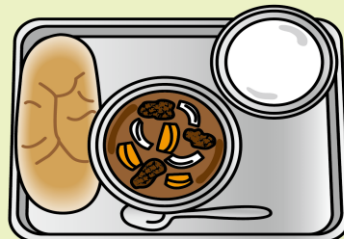


トマトシチュー・ミルク

脱脂粉乳や缶詰などの物資を使って給食が作られました。



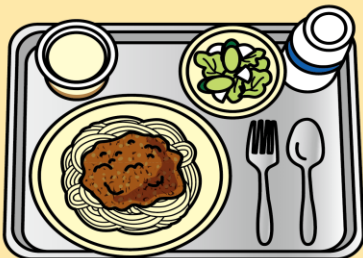
### 昭和 25 年ごろの給食



コッペパン・ミルク・カレーシチュー

アメリカから寄贈された小麦粉を使って、パン・ミルク・おかずの完全給食が始まりました。

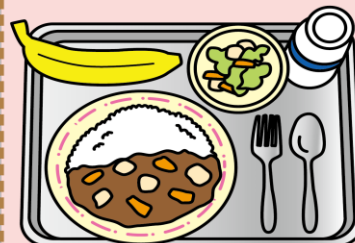
### 昭和 40 年代ごろの給食



ミートスパゲッティ・牛乳・フレンチサラダ・プリン

パンの種類が増え、めん類も提供されるようになりました。脱脂粉乳のミルクは牛乳へと切り替わりました。

### 昭和 50 年代ごろの給食



カレーライス・牛乳・塩もみ・バナナ

給食の主食はパンが中心でしたが、昭和51年に米飯が正式に導入され、献立の内容も豊かになっていきました。

### 今の給食は？

ご飯を中心とした和食の献立を基本に、郷土料理や行事食を提供しています。また、栄養バランスや地域の食文化、食べ物への感謝の気持ちなど、さまざまなことを学ぶための「生きた教材」として活用するなど、「食育」の役割も担っています。

